

ご冥福をお祈りいたします

本学園の理事長山本武先生が二月八日に、元学長の足羽進三郎先生が二月十三日に相次いで永眠されました。ここに謹んで両先生のご冥福をお祈り申し上げます。つきましては、学園における両先生のご功績を称え、ご葬儀の際学園を代表して読まれた杉本正前学長の弔辞を収録させていただきます。

山本武先生、つい先日までかく、十年余りに設立された札幌学院大学後援会の初代会長に先生が就任されたことに始まります。先生は学生時代に応援団長として活躍されましたが、学術・教育・芸術に造詣の深い山本先生をトップにいただいた後援会の発足は、本学にとってまことに頼もしい応援に声を、お母さん方にねがいをいただいたのが、つい先週のことだからです。

先生の指導のもとに企画され、学園が総力を挙げて取り組んでまいりました二連の「学園創立五十周年記念事業」が、「五〇年史」の刊行のみならず完了しようとしているこの期に、先生が逝去されましたことは誠に痛恨の極みでございます。お別れにあたり、先生が札幌学院大学の発展のため長年お骨折りをなされたご功績に、大学を代表して衷心より感謝申し上げます。山本先生と本学とのご縁は、二



前理事長 山本 武氏

急逝された小林庸吉元理事長の後を受け、折からの「大卒生の時代」といわれる厳しい時代の幕開けの時期に、先生は本学第八代理事長を務められ、大学院法学研究科の開設や新校舎の建設などに尽力されるなど、本学発展にむけた第二の五十年の礎を残して下さいました。

山本先生、ありがとうございました。安らかにやすみ下さい。

足羽進三郎先生、先生の突然の訃報は本学にとってこのうえない衝撃でした。

昨年六月の本学創立五十周年の記念式典に、奥様と同伴でいらした先生は大変お元気そうでした。前回の学位授与式と入学式でも先生のいつながらの足の早さを拝見して、私も先生ならばまだまだスキーで三角山に登れるものと信じていたからです。それだけにはありません。本学の今後を展望するとき、今更のように先生の足跡の重みを感じないわけにはいかないからです。

先生は石川元先生は協同組合研究機後の昭和五十年に本学商学部教授として着任され、爾来、商学部長を二期、四年間、学長職を二期、六年間務められるなど十有余年にわたって在職されましたが、この時期は、旧札幌短期大学の発展の解消による札幌商科大学の人文学部および商学部第一部の開設、法学部の創設と札幌学院大学への校名変更、社会情報学部の開設と経済学部の独立にむけた文科系総合大学づくりのための計画策定と



元学長 足羽進三郎氏

この間の単科大学から文科系総合大学への脱皮をはかるうえで不可欠なことは、新旧の学部・学科間および新旧構成員間の相互理解と相互協力の確保でした。幸いに足羽先生ならではの韋駄天(いまだてん)のような「競争」に感嘆したものでした。こうして先生には多くの教職員から絶大な敬愛が寄せられておりました。

以上のように回顧しますと、私どもは、まさに足羽先生のご指導よろしきを得て、先生と共に本学の今日あるまでを切り開いたといつて過言ではないと

'98入試 道内学生比率8割に

平成10年度私大入試の状況

平成10年度の全国私立大学入試志願者数は、六年連続で減少が続いている。ある予備校調査によると、前年度比で六・八%減となった。地域別には、東京の私立大学への出願が目立ち、前年比で二・五%の減少にとどまっている。のに対し、北海道の私立大学は一三・五%減となっている。学部系統別には「文低理高」の傾向が今年も続き、対前年

指数は文系学部にあつては文・人文・教養系統(九五・九)を除き、軒並み平均値(九三・二)を下回った。全体的に理系系が人気があるのは、資格が取得可能で、実験などにより技術が習得できるため就職が良い、という理由によるものと思われる。

平成10年度本学入試の特徴

本学の平成10年度志願者総数は七、三八四人(社会人、外国人留学生含む)で前年度と比較すると二〇・五%減(一、九〇三人減)と大幅な減少となった。また、道内・道外比率は、道内八二・七対道外一七・三(外国・検定を除く)となり道内比率が高まった(前年度比率七八・三対二一・七)。学科別の志願状況は、商学部第二部の二五・一%減(前年度比)を始め、全学部で減少している。その他今年度入試の特徴としては、

①女子の入学者の比率が二三・四%と、約四人に一人が女子という傾向が定着したと

②入学者の道内・道外比率が八一・九対一八・一で道内学生の割合が八割を超えたことなどが挙げられる。

1998(平成10)年度入試結果

試験区分	学科名	志願者	受験者	合格者	競争率
一般入試	商学	918 (101)	872 (96)	438 (59)	2.0
	経済学	1,906 (136)	1,849 (134)	590 (55)	3.1
	人間科学	1,139 (431)	1,115 (422)	342 (160)	3.3
	英語英米文学	394 (201)	382 (197)	144 (83)	2.7
	法律学	925 (115)	906 (114)	563 (80)	1.6
	社会情報学	881 (116)	843 (112)	471 (81)	1.8
	(社会情報学甲)	165 (18)	157 (15)	88 (9)	1.8
	(社会情報学乙)	716 (98)	686 (97)	383 (72)	1.8
	第二部商学(第一期)	280 (11)	277 (11)	125 (8)	2.2
	計	6,443 (1,111)	6,244 (1,086)	2,673 (526)	2.3
推薦入試	第二部商学	116 (6)	111 (6)	20 (2)	5.6
	商学	139 (28)	139 (28)	87 (28)	1.6
	経済学	134 (6)	132 (5)	87 (5)	1.5
	人間科学	182 (92)	179 (91)	68 (40)	2.6
	英語英米文学	48 (20)	48 (20)	31 (16)	1.5
	法律学	133 (25)	133 (25)	86 (19)	1.5
	社会情報学	106 (24)	105 (24)	82 (23)	1.3
	第二部商学	66 (4)	66 (4)	45 (3)	1.5
	計	808 (199)	802 (197)	486 (134)	1.7
	総計	7,367 (1,316)	7,157 (1,289)	3,179 (662)	-

注①()内は女子で内数 ②競争率=受験者÷合格者

社会人入試結果			外国人留学生試験結果				
学科	志願者	受験者	合格者	学科	志願者	受験者	合格者
人間科学	5(4)	5(4)	5(4)	第一部商学	1(0)	1(0)	1(0)
第二部商学	8(0)	8(0)	7(0)	経済学	2(0)	1(0)	1(0)
合計	13(4)	13(4)	12(4)	法学	1(0)	1(0)	1(0)
				合計	4(0)	3(0)	3(0)

大学院入試結果			
研究科	志願者	受験者	合格者
法学研究科	11(2)	9(2)	7(2)

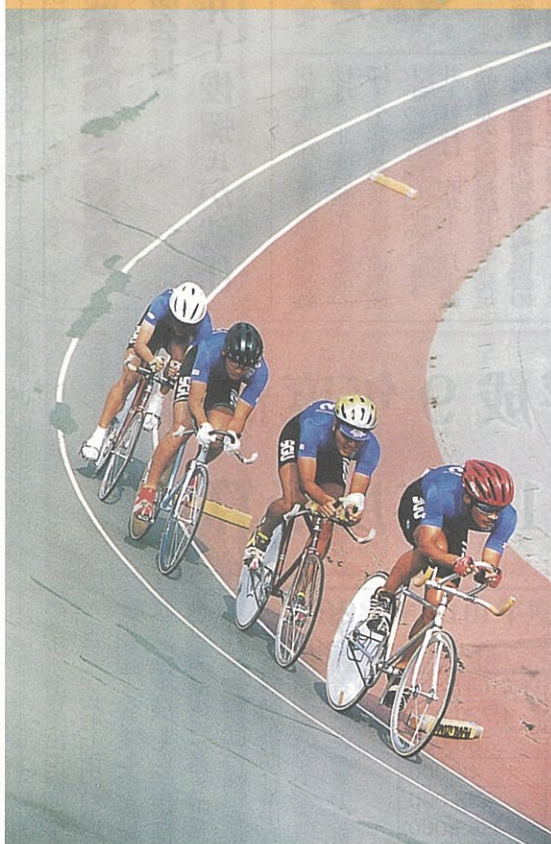
教職員人事

- 平成十年四月二日付
- ◎任命
- 学長 狩野 陽 教授 新任
 - 法務部長 宇田 一明 教授 新任
 - 社会情報学部長 高藤 龍也 教授 新任
 - 教務部長 廣川 和子 教授 新任
 - 学生部長 鳥居 豊代和 教授 新任
- ◎採用
- 図書部長 高木 清 教授 新任
 - 電子計算機センター長 高木 清 教授 新任
 - 国際金融論担当 高懸 雄治 教授
 - 前旭川大学経済学部教授 五十七歳
 - 総合研究大学院院数理学部研究科博士課程修了 前九州女子短期大学初等教育科専任講師 三十四歳
 - 前江別市民会館長 伊藤 博 総務部総務課 五十九歳
 - 英語担当 James D. Hye 講師
 - ヴァージニア大学(米国)卒業 三十六歳
 - 英語担当 Joseph W. Dobson 講師
 - ウィクトリア大学(カナダ)卒業 三十三歳
 - 資格 教授 金 明哲
 - 教授 井上 芳保
 - 助教授 大國 充彦
 - 助教授 河西 邦人
 - 平成十年五月一日付
 - ◎異動
 - 空戸 親善(事務局長) エクステンションセンター事務局長兼務
 - 阿部 清昭(理事長付参事) エクステンションセンター事務局長
 - ◎退職
 - 杉本 正(教授) 平石 修(教授)
 - 宮内 陽子(教授)
 - 戸田 昭治(教授)
 - 鈴木 秀一(教授)
 - 渡部 保夫(教授)
 - 岩城 博三(教授)
 - 三上 貴教(助教授)
 - 中川 正紀(講師)
 - James D. Tario(講師)
 - Steven W. Plarcy(講師)
 - Ocean S. Inglin(講師)
 - 岩城 民雄(総務部総務課)

- 小片 基 教授
- 医学一般担当 元札幌医科大学保健医療学部教授 六十七歳
- 英語担当 Don W. Hinkelina 助教授
- アズバシフィック大学(米国)人材開発学部教育行動科学研究科社会科学研究科十号 前北海道教育大学札幌校外国人教師 四十四歳
- 心理學担当 筑波大学大学院心理学研究科博士課程単位取得満期退学 三十三歳
- 英語担当 神山 義治 助教授
- 中央大学大学院商学研究科博士後期課程修了 三十六歳
- 英語担当 中村 永友 助教授
- 総合研究大学院院数理学部研究科博士課程修了 前九州女子短期大学初等教育科専任講師 三十四歳
- 英語担当 森 直久 講師
- 筑波大学大学院心理学研究科博士課程単位取得満期退学 三十三歳
- 英語担当 岩城 博三(教授)
- 三上 貴教(助教授)
- 中川 正紀(講師)
- James D. Tario(講師)
- Steven W. Plarcy(講師)
- Ocean S. Inglin(講師)
- 岩城 民雄(総務部総務課)

躍進するクラブ

高まる期待



現在、十九名で活動している自転車部は、ツール・ド・北海道等のロードレースをメインとしていますが、マウンテンバイク、トライアスロンなどの競技にも目標を

置き練習に取り組んでいる学生もいます。

去る五月三日にトラック(競輪場) 班は東京都立川市で行われた東日本学生選手権

に出場し、1kmタイムトライアルで6位、4km速度競争8位、団体追い抜きで6位と上位入賞を果たすことができました。同日、十勝スピードウ

自転車部

ルーキーが多数入部

頂点へ全力で駆け上がる

EIで行われたロードレースでも、一年生の吉川優 中本浩二の両選手が本学選手のアシストにより集団から抜け出しましたが、ゴール手前100m付近で集団に吸収され優勝は逃したものの、今後のレースに役立たせる良い経験をしたと思います。

今年度は将来性のある十一

劇団SON'S SUN

創部3年目

充実した公演をめざす

今年三年目を迎える「劇団SON'S SUN」(サンズ・サン)は、部員数三十名で精力的な活動を続けています。活動内

名の新人部員(マネージャー二名含む)が入部し、気合の入る自転車部ですが、部員一同さらに厳しい練習を積み、強豪がひしめく関東圏の大学を脅かす存在になるよう努力して行きます。

(自転車部主将 芳賀 喜昭 商学部三年)

ようこそ 金秀美さん

韓国・東國大から初の交換留学生



英語英米文学科 在籍

金さんは、四月一日、千歳空港に一人では運べないほどの大きな荷物を三つも持って到着しました。翌日、早速英語英米文学科のガイダンスに出席、その後教務の学部担当者と一緒に履修について熱心に相談していました。現在特別科目等履修生として、及川英子教授の指導のもとで幅広い学修をしております。

留学の目的を尋ねると「東洋文学と西洋文学をもっと勉強したい」と語ってくれました。先日、米国のパシフィック・クルーゼン大学(PFU)へ留学した本学の学生三人を国際交流ラウンジで紹介したところ、韓国語で話しかけられ、とても驚いた様子でした。金さんは、四月一日、千歳空港に一人では運べないほどの大きな荷物を三つも持って到着しました。翌日、早速英語英米文学科のガイダンスに出席、その後教務の学部担当者と一緒に履修について熱心に相談していました。現在特別科目等履修生として、及川英子教授の指導のもとで幅広い学修をしております。

留学の目的を尋ねると「東洋文学と西洋文学をもっと勉強したい」と語ってくれました。先日、米国のパシフィック・クルーゼン大学(PFU)へ留学した本学の学生三人を国際交流ラウンジで紹介したところ、韓国語で話しかけられ、とても驚いた様子でした。金さんは、四月一日、千歳空港に一人では運べないほどの大きな荷物を三つも持って到着しました。翌日、早速英語英米文学科のガイダンスに出席、その後教務の学部担当者と一緒に履修について熱心に相談していました。現在特別科目等履修生として、及川英子教授の指導のもとで幅広い学修をしております。

日本の生活 丸ごと体験

土曜公開講座

「情報化社会の光と影」

インターネット実地体験も

今年で十九回目を迎えた「土曜公開講座」は、本学社会情報学部のスタッフの担当により「情報化社会の光と影」というテーマで行なわれています。講師・個別テーマ・開催日時とは別掲のとおりです。

中国人留学生 馬 丽丽さん

揚子江大橋ランニング

卒業記念

私は、本学創立五〇周年記念事業の一環として、平成八年、北京において「万里の長城ランニング」を、また、翌

平成九年、西安で「中国人留学生と本学学生の交流駅伝」を、学園のご配慮により成功裡に完走させることができました。

社会情報学部は、従来の文系・理系という枠組みを超え、両者の思考を融合させたハイブリッド思考を創造することを目指して一九九九年に創設されました。スタッフは理論

物理学・システム工学などが、社会学・言語学までわたる非常に広範な専門分野をバックグラウンドに持ち、学生もコンピュータプログラムの実習とともに社会調査

を必修として学ぶなど、ユニークな教育の試みが日ごろから実践されています。

今年度の講座内容もそうした特徴を大きく反映したものであり、近年社会のさまざまな

領域にわたって問題が展開しつつある「情報化」について、それぞれの専門分野から切り込み、その諸側面をユニークな形で浮かび上がらせることと期待されます。

さらに講義の形式としても、単なる一方的な聴講の形式ではなく、インターネットの実地体験や、フロア参加のパネルディスカッションなど、

情報化社会の現実に対応した受講形式をとっています。

こうした試みが、情報図書館の設置や市広報のホームページ化など、着実に情報化の歩みを進め、生涯学習にも力を入れていく江別市民の方々

と相互に刺激しあう形で、一つの新しい知の地平が開けることが期待されます。

回数	日程	講師	テーマ
①	5/ 9(土)	社会情報学部教授 藤 たつき	総論 情報化社会の光と影
②	5/16(土)	社会情報学部助教授 佐藤 和洋	インターネット現地における社会情報システムデータベース技術を中心に
③	5/23(土)	社会情報学部助教授 新 國 三千代	インターネット体験①
④	5/30(土)	社会情報学部助教授 原 田	インターネット体験②
⑤	6/ 6(土)	社会情報学部助教授 皆 川 雅章	インターネット体験③
⑥	6/13(土)	社会情報学部助教授 石井 和平 社会情報学部教授 井上 芳保	情報技術の発展と社会への影響 なぜ心の商品化はあましくないのか —もっとエロスがあってもいいんじゃない—
⑦	6/20(土)	社会情報学部教授 勝井 義雄	地球に生きる —火山との共生—
⑧	6/27(土)	社会情報学部講師 是 永 社会情報学部助教授 小 内 純子	メディア社会におけるうわさ 地域社会と情報
⑨	7/ 4(土)	社会情報学部講師 山崎 哲永 社会情報学部教授 金 明 哲	ことばの仕組みと働き コンピュータで文体を読む
⑩	7/11(土)	社会情報学部教員陣	パネルディスカッション

積極的に取り組んでいます。今年度から正式に文化会のクラブとして認められ、学内の知名度も高くなっている劇団SON'S SUNをさらに発展させるべく、団員一同頑張ります。

(劇団SON'S SUN代表 横山 勝俊 商学部三年)

引き続き本年二月二十一日、中国人留学生馬 丽丽さんの郷里・南京市の揚子江大橋(卒業記念ランニングを行った)。

南京は十の王朝が都と定めた都市であり、全長六七二メートルの中国最長の大橋が架かっているが、古代における文明を創造し、独特の自然景観や、数多くの伝説などに思いを馳せながら、当日九時ちょうどにスタートした。この橋は山型に半円を描くような構造で、全長の前半分はなだらかな上り、後半は下りで、当初想像していた平坦な状態とは全く異なり、はるかに走り応えのあるロードである。

橋の三分の一と三分の二の地点には国民服を着た労働者の像が建てられ、文化大革命の影響を感じさせる中国らしい風景も見られた。

ランニングは橋の両側に設けられた、幅三メートルの歩道を走るわけだが、車の通行が非常に激しく、砂ぼこりが舞い、一緒に伴走した本学留学生(友情応援)馬 柳楓君

も悪戦苦闘していた。そんな中ゴール地点である長江大橋の最長尾に、中国語で書かれた横断幕「札幌学院大学」のテープを持った両親、中国・南京市の南京長江大橋をランニングする馬 丽丽さん(右)ら。

労働者像が文革の影響を感じさせる

友人等に迎えられて、感動のゴールイン。馬 丽丽さんの目に涙が光っていた。

(人文学部教授 笹岡 征雄)

